

未指定の交雑種リスト（指定済みの交雑種以外で存在が確認されている、可能性がある未指定の交雑種リスト）

参考資料5

分類群	種Aの和名	種Aの学名	種Aの外来生物法の指定（－は法の対象外）	種Aの生態系被害防止外来種リストのカテゴリ	×	種Bの和名	種Bの学名	種Bの外来生物法の指定（－は法の対象外）	種Bの生態系被害防止外来種リストのカテゴリ	交雑種の呼び名・学名	確認状況
哺乳類	タイリクモモンガ	<i>Pteromys volans</i>	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	エゾモモンガ（在来）	<i>Pteromys volans orii</i>	－	－		交雑するおそれがある。
哺乳類	フィンレイソンリス	<i>Callosciurus finlaysonii</i>	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	クリハラリス	<i>Callosciurus erythraeus</i>	特定外来生物	緊急対策外来種		静岡県浜松市周辺で確認されている。
哺乳類	シマリス	<i>Tamias sibiricus</i>	なし	重点対策外来種	×	エゾシマリス（在来）	<i>Tamias sibiricus lineatus</i>	－	－		交雑するおそれがあるが、現状は不明である。
哺乳類	ヘラジカ	<i>Alces alces</i>	－	－	×	ワビチ	<i>Cervus canadensis</i>	特定外来生物	重点対策外来種		ヘラジカ（亜種不明）とワビチ（亜種不明）の交雑が確認されている。
哺乳類	アキスジカ	<i>Axis axis</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種	×	ホッグジカ	<i>Axis porcinus</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種		アキスジカのメス（亜種不明）とホッグジカのオス（亜種不明）で交雑が確認されている。 アキスジカの1亜種 <i>A. a. ceylonensis</i> とホッグジカ（亜種不明）で交雑が確認されている。
哺乳類	アキスジカ	<i>Axis axis</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種	×	ワビチ	<i>Cervus canadensis</i>	特定外来生物	重点対策外来種		アキスジカ（亜種不明）とワビチの1亜種であるマンシュウアカシカ <i>C. c. xanthopygus</i> の交雑が確認されている。
哺乳類	アキスジカ	<i>Axis axis</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種	×	バラシנגジカ	<i>Cervus duvaucelii</i>	特定外来生物	重点対策外来種		アキスジカ（亜種不明）とバラシングジカ（亜種不明）の交雑が確認されている。
哺乳類	アキスジカ	<i>Axis axis</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種	×	アカシカ	<i>Cervus elaphus</i>	特定外来生物	重点対策外来種		アキスジカのオス（亜種不明）とアカシカのメス（亜種不明）で交雑が確認されている。
哺乳類	アキスジカ	<i>Axis axis</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種	×	オジロジカ	<i>Odocoileus virginianus</i>	なし	なし		アキスジカのメス（亜種不明）とオジロジカのオス（亜種不明）で交雑が確認されている。 アキスジカの1亜種 <i>A. a. ceylonensis</i> とオジロジカ（亜種不明）で交雑が確認されている。
哺乳類	ホッグジカ	<i>Axis porcinus</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種	×	ノロジカ	<i>Capreolus capreolus</i>	なし	なし		ホッグジカのオス（亜種不明）とノロジカのメス（亜種不明）で交雑が確認されている。
哺乳類	ホッグジカ	<i>Axis porcinus</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種	×	ダマシカ	<i>Dama dama</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種		ホッグジカのオス（亜種不明）とダマシカのメス（亜種不明）で交雑が確認されている。
哺乳類	アルフレッドサンバー	<i>Cervus alfredi</i>	特定外来生物	重点対策外来種	×	サンバー	<i>Cervus unicolor nigricans</i>	特定外来生物	重点対策外来種		アルフレッドサンバー とサンバーの1亜種 <i>C. u. nigricans</i> の交雑が確認されている。
哺乳類	ワビチ（亜種不明）	<i>Cervus canadensis ssp.</i>	特定外来生物	重点対策外来種	×	ワビチ（亜種マンシュウアカシカ）	<i>Cervus canadensis xanthopygus</i>	特定外来生物	重点対策外来種		ワビチ（亜種不明）とワビチの1亜種であるマンシュウアカシカ <i>C. c. xanthopygus</i> の交雑が確認されている。
哺乳類	ワビチ	<i>Cervus canadensis</i>	特定外来生物	重点対策外来種	×	アカシカ	<i>Cervus elaphus</i>	特定外来生物	重点対策外来種		ワビチの1亜種 <i>C. c. asiaticus</i> のオスとアカシカのメス（亜種不明）で交雑が確認されている。 ワビチ（亜種不明）とカンミールアカシカ <i>C. e. hangul</i> の交雑が確認されている。 ワビチ（亜種不明）とアカシカの1亜種 <i>C. e. asiaticus</i> の交雑が確認されている。 ワビチ（亜種不明）とアカシカ（亜種不明）の交雑が確認されている。
哺乳類	アカシカ	<i>Cervus elaphus</i>	特定外来生物	重点対策外来種	×	サンバー	<i>Cervus unicolor</i>	特定外来生物	重点対策外来種		交雑が確認されている。
哺乳類	アカシカ	<i>Cervus elaphus</i>	特定外来生物	重点対策外来種	×	シフゾウ	<i>Elaphurus davidianus</i>	特定外来生物	その他の定着予防外来種		交雑が確認されている。
哺乳類	ニホンジカ（在来および外国産亜種を含む）	<i>Cervus nippon</i>	特定外来生物 （在来亜種は除く）	重点対策外来種 （在来亜種は除く）	×	アキスジカ	<i>Axis axis</i>	特定外来生物	その他の総合対策外来種		交雑が確認されている。
哺乳類	ニホンジカ（在来および外国産亜種を含む）	<i>Cervus nippon</i>	特定外来生物 （在来亜種は除く）	重点対策外来種 （在来亜種は除く）	×	アカシカ	<i>Cervus elaphus</i>	特定外来生物	重点対策外来種		多くの地域で交雑が確認されている。また、ニホンジカと他のアカシカ亜種との交雑の可能性が高いといわれている。 ニホンジカ（在来）とアカシカ（亜種不明）の交雑が確認されている。 ウスリージカ <i>C. n. hortulorum</i> とアカシカ（亜種不明）の交雑が確認されている。
哺乳類	ニホンジカ（タイワンジカ）	<i>Cervus nippon taiouanus</i>	特定外来生物	重点対策外来種	×	ニホンジカ（在来および外国産亜種を含む）	<i>Cervus nippon</i>	特定外来生物 （在来亜種は除く）	重点対策外来種 （在来亜種は除く）		ニホンジカ（在来）とタイワンジカ <i>C. n. taiouanus</i> の交雑が確認されている。 マンシュウジカ <i>C. n. mantchuricus</i> とタイワンジカ <i>C. n. taiouanus</i> の交雑が確認されている。
哺乳類	サンバー	<i>Cervus unicolor unicolor</i>	特定外来生物	重点対策外来種	×	ルサジカ	<i>Cervus timorensis russa</i>	特定外来生物	重点対策外来種		サンバーのオスとルサジカのメスの交雑が確認されている。
哺乳類	ホエジカ	<i>Muntiacus muntjac</i>	－	－	×	キョン	<i>Muntiacus reevesi</i>	特定外来生物	緊急対策外来種		ホエジカ（亜種不明）とキョン（亜種不明）の交雑が確認されている。 ホエジカの1亜種 <i>M. m. vaginalis</i> とキョンの1亜種 <i>M. r. reevesi</i> の交雑が確認されている。
鳥類	カナダガン	<i>Branta canadensis</i>	特定外来生物	緊急対策外来種	×	シジュウカラガン（在来；絶滅危惧IA類）	<i>B. hutchinsii leucopareia</i>	－	－		懸念される。
鳥類	カナダガン	<i>Branta canadensis</i>	特定外来生物	緊急対策外来種	×	ガチョウ（ハイイロガンを家畜化したもの）	<i>Anser anser var. domesticus</i>				茨城県の牛久沼で確認されている。
鳥類	コウライキジ	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>	なし	その他の総合対策外来種	×	キジ（在来）	<i>Phasianus versicolor</i>	－	－		在来種のキジと比較的自由に交雑し、その雑種も妊性をもつことが知られている。
鳥類	クロエリセイタカシギ	<i>Himantopus mexicanus</i>	なし	その他の総合対策外来種	×	セイタカシギ（在来；絶滅危惧IB類）	<i>Himantopus himantopus</i>	－	－		飼育下（デンマーク・コペンハーゲン動物園）、野生下（オランダ）の両方で交雑が確認されている。2004年6月に大阪で営巣が確認されたセイタカシギにクロエリセイタカシギの特徴が顕著に現れていたため、交雑が起きているのではないかと懸念されている。
鳥類	外国産メジロ	<i>Zosterops spp.</i>	なし	その他の定着予防外来種	×	在来のメジロ属	<i>Zosterops spp.</i>	－	－		種間交雑の事例として、オーストラリアでハイムネメジロ <i>Z. lateralis</i> とキバラメジロ <i>Z. luteus</i> の大規模な自然交雑が起こったことを示唆する研究結果が報告されており、交雑による遺伝的攪乱や、餌や営巣場所を巡る競争など、在来のメジロに影響を及ぼすおそれがある。
爬虫類	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	特定外来生物		×	ワニガメ	<i>Macrochelys spp.</i>	なし（※動物愛護管理法の指定動物）	その他の定着予防外来種	カミツキワニガメ	交雑個体と推測される個体の写真がインターネット上に挙げられている。

分類群	種Aの和名	種Aの学名	種Aの外来生物法の指定（－は法の対象外）	種Aの生態系被害防止外来種リストのカテゴリ	×	種Bの和名	種Bの学名	種Bの外来生物法上の指定（－は法の対象外）	種Bの生態系被害防止外来種リストのカテゴリ	交雑種の呼び名・学名	確認状況
爬虫類	ハナガメ	Mauremys sinensis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	セマルハコガメ（在来）	Cuora flavmarginata	－	－		交雑のおそれがある（イシガメ科の各種は属間交雑がしばしばみられる）
爬虫類	ハナガメ	Mauremys sinensis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	リュウキュウヤマガメ（在来）	Geoemyda japonica	－	－		交雑のおそれがある（イシガメ科の各種は属間交雑がしばしばみられる）
爬虫類	ハナガメ	Mauremys sinensis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	アンナンガメ	Mauremys annamensis	－	－		交雑例が知られている（ハナガメを特定外来生物に指定する際の会議資料より）。アンナンガメは2019年に国際希少野生動物種に指定された。
爬虫類	ハナガメ	Mauremys sinensis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	ミズジハコガメ	Cuora trifasciata	－	－		交雑例が知られている（ハナガメを特定外来生物に指定する際の会議資料より）
爬虫類	ミナミイシガメ	Mauremys mutica	なし	その他の総合対策外来種	×	ニホンイシガメ（在来）	Mauremys japonica	－	－		Vetter and van Dijk（2006）にはミナミイシガメ（亜種不明）とニホンイシガメの交雑個体とされる写真が掲載されて
爬虫類	チュウゴクセマルハコガメ	Cuora flavmarginata flavomargina	なし	その他の定着予防外来種	×	ヤエヤマセマルハコガメ（在来）	Cuora flavmarginata evelynae	－	－		交雑する可能性が高い。
爬虫類	チュウゴクスッポン	Pelodiscus sinensis sinensis	なし	その他の総合対策外来種	×	ニホンスッポン（在来）	Pelodiscus sinensis japonicus	－	－		交雑により遺伝的攪乱をもたらすおそれがある。
爬虫類	クサガメ	Mauremys reevesii	なし	なし（※リスト巻末に解説あり）	×	ニホンイシガメ（在来）	Mauremys japonica	－	－	ウンキュウ、イシクサガメ	交雑個体が日本各地で確認されており、またペットとして販売されている。
爬虫類	タイワンスジオ	Elaphe taeniura friesi	特定外来生物	緊急対策外来種	×	サキシマスジオ（在来）	Elaphe taeniura schmackeri	－	－		交雑により遺伝的攪乱をもたらすおそれがある。
爬虫類	タイワンハブ	Protobothrops mucrosquamatus	特定外来生物	緊急対策外来種	×	ハブ（在来）	P. flavoviridis	－	－		名護市では在来のホンハブとの交雑個体と考えられるヘビが採集されており、在来ハブに遺伝的攪乱をもたらすおそれがある。
両生類	チュウゴクオオサンショウウオ	Andrias davidianus	なし	重点対策外来種	×	オオサンショウウオ（在来）	A. japonicus	－	－		京都府、三重県、奈良県などで交雑個体が確認されており、特に京都府の鴨川においては、現在確認されるオオサンショウウオ類のほぼ全てが交雑個体に置き換わり、さらに第2世代（交雑個体どうしや戻し交雑個体）が増加している。
魚類	ニジマス	Oncorhynchus mykiss	なし	産業管理外来種	×	ラホントン・カットスロートトラウト	O. clarkii henshawi	なし	なし		カリフォルニア州ではラホントン・カットスロートトラウトがニジマスと交雑することで、絶滅の危機に追いやられている。日本国内には侵入していない。
魚類	ニジマス	Oncorhynchus mykiss	なし	産業管理外来種	×	ウエストスロープ・カットスロートトラウト	Oncorhynchus clarkii lewisi	なし	なし		国内には侵入していない。カナダでは、ニジマスとウエストスロープ・カットスロートトラウトの交雑及び交雑個体と親種の戻し交配によって、両種に強い遺伝子浸透が起こっている。日本国内には侵入していない。
魚類	ニジマス	Oncorhynchus mykiss	なし	産業管理外来種	×	ゴールドトラウト	O. aguabonita	なし	なし		国内には侵入していない。カリフォルニア州ではゴールドトラウトがニジマスと交雑することで、絶滅の危機に追いやられている。日本国内には侵入していない。
魚類	ニジマス	Oncorhynchus mykiss	なし	産業管理外来種	×	レッドバンドトラウト	O. m. gairdneri	なし	なし		カリフォルニア州ではレッドバンドトラウトがニジマスと交雑することで、絶滅の危機に追いやられている。日本国内には侵入していない。
魚類	ブラウントラウト	Salmo trutta	なし	産業管理外来種	×	イワナ（在来）	Salvelinus leucomaenis	－	－	タイガートラウト	イワナとの交雑個体もタイガートラウトの名で利用されている。
魚類	カワマス	Salvelinus fontinalis	なし	その他の総合対策外来種	×	イワナ（在来）	Salvelinus leucomaenis	－	－		梓川ではイワナとの交雑種が優占している。管理釣り場ではカワマスとともに、イワナとの交雑種（F1）も利用されている。
魚類	カワマス	Salvelinus fontinalis	なし	その他の総合対策外来種	×	アメマス（在来）	Salvelinus leucomaenis leucomaenis	－	－		空知川で交雑が起こっている。
魚類	レイクトラウト	Salvelinus namaycush	なし	産業管理外来種	×	カワマス	Salvelinus fontinalis	なし	その他の総合対策外来種	splake trout	カワマスとの交雑種（splake trout）は北アメリカ各地に放流されている。
魚類	ストライプトバス	Morone saxatilis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	ホワイトパーチ	Morone americana	特定外来生物	侵入予防外来種	バージニアバス、メリーランドバス	人工的に作出され、メリーランド州の野外で確認記録がある。日本国内には侵入していない。
魚類	ストライプトバス	Morone saxatilis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	イエローバス	Morone mississippiensis	なし	なし	パラダイスバス	人工的に作出された記録がある。日本国内には侵入していない。
魚類	ホワイトバス	Morone chrysops	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	イエローバス	Morone mississippiensis	なし	なし		テキサス州とウィスコンシン州の野外で確認記録がある。日本国内には侵入していない。
魚類	ホワイトバス	Morone chrysops	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	ホワイトパーチ	Morone americana	特定外来生物	侵入予防外来種		オハイオ州の野外で確認記録がある。日本国内には侵入していない。
魚類	タイリクスズキ	Lateolabrax maculatus	なし	なし	×	スズキ（在来）	Lateolabrax japonicus	－	－		有明海のスズキは、最終氷期の海面低下時にタイリクスズキとの交雑により生じた独自の遺伝子組成をもつ集団とされているが、その存続はタイリクスズキの侵入によって脅かされる可能性がある。
魚類	オオクチバス	Micropterus salmoides	特定外来生物	緊急対策外来種	×	コクチバス	Micropterus dolomieu	特定外来生物	緊急対策外来種		テキサス州の河川ではコクチバスとの交雑が確認されている。日本国内では両種の交雑の記録は無い。
魚類	オオクチバス	Micropterus salmoides	特定外来生物	緊急対策外来種	×	グアダルーパーバス	Micropterus treculii	未判定外来生物	なし		テキサス州の河川ではグアダルーパーバスとの交雑が確認されており、グアダルーパーバス個体群の絶滅の原因になったと考えられている。
魚類	ナイルティラピア	Oreochromis niloticus	なし	その他の総合対策外来種	×	カワスズメ	Oreochromis mossambicus	なし	その他の総合対策外来種		容易に交雑する。沖縄では雑種個体群を形成している可能性が極めて高い。
魚類	タイリクバラタナゴ	Rhodeus ocellatus ocellatus	なし	重点対策外来種	×	ニッポンバラタナゴ（在来；日本固有；絶滅危惧IA類）	Rhodeus ocellatus kurumeus	－	－		容易に交雑する。
昆虫類	外国産オオクワガタ属	Dorcus spp.	なし	その他の定着予防外来種	×	日本産オオクワガタ属	Dorcus spp.	－	－		侵入した場合、交雑が懸念される。野外において外国産オオクワガタと日本産の同属種ヒラタクワガタの交雑個体（一代雑種）の発見事例が2例ある。
昆虫類	外国産サンダースマルバネクワガタ種群	Neolucanus spp.	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	ウケジママルバネクワガタ（在来）	Neolucanus protogenetivus hamaii	－	－		侵入した場合、交雑が懸念される。
昆虫類	外国産サンダースマルバネクワガタ種群	Neolucanus spp.	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	ヨナグニマルバネクワガタ（在来）	Neolucanus insulicola donan	－	－		侵入した場合、交雑が懸念される。
昆虫類	外国産サンダースマルバネクワガタ種群	Neolucanus spp.	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	ヤエヤママルバネクワガタ（在来）	Neolucanus insulicola insulicola	－	－		侵入した場合、交雑が懸念される。
昆虫類	外国産サンダースマルバネクワガタ種群	Neolucanus spp.	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	オキナワマルバネクワガタ（在来）	Neolucanus okinawanus	－	－		侵入した場合、交雑が懸念される。
昆虫類	外国産サンダースマルバネクワガタ種群	Neolucanus spp.	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	アマミマルバネクワガタ（在来）	Neolucanus protogenetivus protogenetivus	－	－		侵入した場合、交雑が懸念される。
昆虫類	外国産サンダースマルバネクワガタ種群	Neolucanus spp.	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	外国産サンダースマルバネクワガタ種群	Neolucanus spp.	特定外来生物	その他の定着予防外来種		飼育下ではサンダースマルバネクワガタとオキナワマルバネクワガタとの交雑が確認されており、多くの種が交雑可能と考えられている（荒谷私信）。国内での野外における発見例及び在来種との交雑例はない。また、交雑品の流通も確認されていない（荒谷私信）。

分類群	種Aの和名	種Aの学名	種Aの外来生物法の指定（－は法の対象外）	種Aの生態系被害防止外来種リストのカテゴリ	×	種Bの和名	種Bの学名	種Bの外来生物法上の指定（－は法の対象外）	種Bの生態系被害防止外来種リストのカテゴリ	交雑種の呼び名・学名	確認状況
昆虫類	ヒアリ類（4種群23種）		ヒアリ、アカカミアリは特定外来生物（その他の種は指定候補）	ヒアリは侵入予防外来種、アカカミアリは緊急対策外来種	×	ヒアリ類（4種群23種）		ヒアリ、アカカミアリは特定外来生物（その他の種は指定候補）	ヒアリは侵入予防外来種、アカカミアリは緊急対策外来種		南北アメリカでは、S.xyloni×アカカミアリ、ヒアリ×クロヒアリの交雑が起きている。
昆虫類	外国産テナゴカガネ属	Cheirotonus spp.	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	ヤンバルテナゴカガネ（在来；日本固有；絶滅危惧IB類）	Cheirotonus jambar	－	－		交雑による遺伝的攪乱が懸念される。
昆虫類	シロテンハナムグリ台湾亜種	Protaetia orientalis sakaii	なし	その他の総合対策外来種	×	リュウキュウオオハナムグリ（在来；沖縄固有）	Protaetia lewisii	－	－		交雑個体が発見されている。
昆虫類	シロテンハナムグリ台湾亜種	Protaetia orientalis sakaii	なし	その他の総合対策外来種	×	オキナワシロテンハナムグリ（在来；沖縄固有）	Protaetia ishigakia	－	－		交雑個体と推測される中間的な個体が複数発見されている。
昆虫類	シロテンハナムグリ台湾亜種	Protaetia orientalis sakaii	なし	その他の総合対策外来種	×	インガキシロテンハナムグリ沖縄亜種（在来；沖縄固有）	Protaetia ishigakia okinawana	－	－		沖縄島で交雑個体が採集されている。
昆虫類	外国産カブトムシ	Dynastinae Gen. spp.	なし	その他の総合対策外来種	×	在来のカブトムシ類		－	－		逸出個体による交雑や意図的な交雑による遺伝的攪乱が懸念される。
昆虫類	アカボシゴマダラ（奄美亜種を除く）	Hestina assimilis	特定外来生物	重点対策外来種	×	アカボシゴマダラ奄美亜種（在来）	Hestina assimilis shirakii	－	－		交雑による遺伝的攪乱が懸念される。
昆虫類	セイヨウオオマルハナバチ	Bombus terrestris	特定外来生物	産業管理外来種	×	オオマルハナバチ（在来）	Bombus hypocrita	－	－		DNA解析により野外で交雑個体発見されている。
甲殻類	ラスティークレイフィッシュ	Orconectes rusticus	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	近縁種		－	－		北米では禁煙種との交雑が確認されている。
甲殻類	チュウゴクモズガニ	Eriocheir sinensis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	モズガニ（在来）	Eriocheir japonica	－	－		交雑による遺伝的攪乱が懸念される。（モズガニ属は4種からなる）
甲殻類	エリオケイル・ヘプエンシス（外国産モズガニの1種）	Eriocheir hepuensis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	モズガニ（在来）	Eriocheir japonica	－	－		交雑による遺伝的攪乱が懸念される。（モズガニ属は4種からなる）
甲殻類	チュウゴクモズガニ	Eriocheir sinensis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	オガサワラモズガニ（在来）	Eriocheir ogasawaraensis	－	－		交雑による遺伝的攪乱が懸念される。（モズガニ属は4種からなる）
甲殻類	エリオケイル・ヘプエンシス（外国産モズガニの1種）	Eriocheir hepuensis	特定外来生物	その他の定着予防外来種	×	オガサワラモズガニ（在来）	Eriocheir ogasawaraensis	－	－		交雑による遺伝的攪乱が懸念される。（モズガニ属は4種からなる）
軟体動物	スクミリンゴガイ	Pomacea canaliculata	なし	重点対策外来種	×	ラブラタリンゴガイ	Pomacea maculata	なし	重点対策外来種		交雑個体が沖縄本島、石垣島、西表島、熊本県で確認されている。
軟体動物	ムラサキガイ	Mytilus galloprovincialis	なし	その他の総合対策外来種	×	キタノムラサキガイ（在来）	Mytilus trossulus	－	－		北海道では在来のキタノムラサキガイとの交雑が懸念されている。
軟体動物	ホンビノスガイ	Mercenaria mercenaria	なし	その他の総合対策外来種	×	ピノスガイ（在来）	Mercenaria stimpsoni	－	－		東北以北の浅海域に定着した場合、交雑が懸念されている。
軟体動物	シナハマグリ	Meretrix petechialis	なし	その他の総合対策外来種	×	ハマグリ（在来）	Meretrix lusoria	－	－		瀬戸内海では交雑個体が各地で発見されている。
植物	アメリカオアカウキクサ（アゾラ・クリスタータ）	Azolla cristata	特定外来生物	緊急対策外来種	×	ニシノオアカウキクサ（外来）	Azolla filiculoides	なし	緊急対策外来種	アイオオアカウキクサ A. cristata × filiculoides	アイオオアカウキクサが特に広がっている。
植物	スイレン属	Nymphaea spp.	なし	なし	×	在来のスイレン属	Nymphaea spp.	－	－	園芸スイレンNymphaea cv.	園芸スイレンは、在来種を含む様々な種類から作出された品種群で、北海道～沖縄に分布する。在来種の遺伝的攪乱が危惧される。重点対策外来種。
植物	ヒロハオモダカ	Sagittaria platyphylla	なし	重点対策外来種	×	オモダカやウリカワなど由来のオモダカ属	Sagittaria spp. (S. trifolia, S. pygmaeaなど)	－	－		交雑が起こる可能性がある。
植物	セイヨウセキショウモ	Vallisneria spiralis	なし	重点対策外来種	×	コウガイモ（在来）	Vallisneria denseserrulata	－	－	コウガイモ × Vallisneria × pseudorosulata	コウガイモは、セイヨウセキショウモと在来種のコウガイモの交雑起源の雑種。セイヨウセキショウモとして販売されたり、在来種のセキショウモV. natansなどに誤認されることが多い。
植物	タカサゴユリ	Lilium formosanum	なし	なし	×	テッポウユリ（在来）	Lilium longiflorum	－	－	シンテッポウユリLilium × formosanum	シンテッポウユリは、本州、四国、九州に分布する。在来種の遺伝的攪乱が危惧される。その他の総合対策外来種。
植物	キショウブ	Iris pseudacorus	なし	重点対策外来種	×	在来のアヤメ属	Iris spp.	－	－		アヤメ属の中には交雑種として発展した園芸品種が多数あり、キショウブについても在来種と交雑が起こる可能性がある。
植物	コヌカグサ、クロコヌカグサ	Agrostis gigantea, A. nigra	なし	産業管理外来種	×	在来のヌカボ属	Agrostis spp.	－	－		交雑しやすい種類とされ、在来種の遺伝的攪乱が危惧される。
植物	オオアワガエリ（チモシー）	Phleum pratense	なし	産業管理外来種	×	ミヤマアワガエリ（在来）	Phleum alpinum	－	－		交雑による遺伝的攪乱が懸念される。
植物	オオバナミズキンバイなどを 含むルドウィギア・グラン ディフロラ	Ludwigia grandiflora	特定外来生物	緊急対策外来種	×	在来のチョウジタデ属	Ludwigia spp.	－	－		チョウジタデ属の中のミズキンバイ節の近縁種間には交雑親性があることから遺伝的攪乱が危惧される。
植物	ヨーロッパハンノキ	Alnus glutinosa	なし	その他の定着予防外来種	×	在来のハンノキ属	Alnus spp.	－	－		ハンノキ属の他種と容易に雑種をつくるので、在来種の遺伝的攪乱のおそれがある。
植物	ハルザキヤマガラシ	Barbarea vulgaris	なし	その他の総合対策外来種	×	ヤマガラシ（在来）	Barbarea orthoceras	－	－		群馬県では近縁で酷似したヤマガラシが競合、排除され、本種と混同されて生育状況の把握が難しくなった。滋賀県伊吹山ではヤマガラシとの交雑や遺伝的攪乱が懸念される。
植物	アメリカハナノキ	Acer rubrum	なし	その他の定着予防外来種	×	ハナノキ（在来；絶滅危惧II類）	Acer pycnanthum	－	－		交雑するので、遺伝的攪乱を引き起こす可能性が高い。
植物	フヨウ	Hibiscus mutabilis	なし	その他の総合対策外来種	×	サキシマフヨウ（在来；日本固有）	Hibiscus makinoi	－	－		サキシマフヨウの遺伝的攪乱を引き起こす。屋久島、種子島などサキシマフヨウの自生地で、しばしば栽培のフヨウとの間に稔性のある種間雑種ができるため、浸透交雑個体群が形成される。サキシマフヨウは日本固有種で、九州、沖縄に生育し、鹿児島県の分布重要種である。
植物	カライタドリ	Fallopia forbesii	なし	その他の総合対策外来種	×	在来のイタドリ類		－	－		イタドリ類は雑種を形成するため、本種による在来のイタドリ類への遺伝的攪乱が懸念される。
植物	ナガバギンギン	Rumex crispus	なし	その他の総合対策外来種	×	ノダイオウ（在来；絶滅危惧II類）	Rumex longi folius	－	－	ナガバノギンギンRumex × propinquus	交雑し、遺伝的攪乱を引き起こす。
植物	ナガバギンギン	Rumex crispus	なし	その他の総合対策外来種	×	ギンギン（在来）	Rumex japonicus	－	－	アイノギンギンRumex crispus × R. japonicus	交雑する。
植物	ナガバギンギン	Rumex crispus	なし	その他の総合対策外来種	×	コギンギン（在来）	Rumex dentatus subsp. klotzschianus	－	－		交雑する。
植物	エゾノギンギン	Rumex obtusifolius	なし	その他の総合対策外来種	×	キブネダイオウ（在来；絶滅危惧I類）	Rumex nepalensis subsp. andreaeanus	－	－	ミヤコダイオウRumex × autranianus	交雑する。
植物	エゾノギンギン	Rumex obtusifolius	なし	その他の総合対策外来種	×	ノダイオウ（在来；絶滅危惧II類）	Rumex longifolius	－	－		交雑する。

分類群	種Aの和名	種Aの学名	種Aの外来生物法の指定（－は法の対象外）	種Aの生態系被害防止外来種リストのカテゴリ	×	種Bの和名	種Bの学名	種Bの外来生物法上の指定（－は法の対象外）	種Bの生態系被害防止外来種リストのカテゴリ	交雑種の呼び名・学名	確認状況
植物	エゾノギシギシ	Rumex obtusifolius	なし	その他の総合対策外来種	×	マダイオウ（在来）	Rumex madaio	－	－	トガマダイオウRumex × hybridus	交雑する。
植物	エゾノギシギシ	Rumex obtusifolius	なし	その他の総合対策外来種	×	ギシギシ（在来）	Rumex japonicus	－	－	ギシギシモドキRumex japonicus × R. obtusifolius	交雑する。
植物	ナガエモウセンゴケ	Drosera intermedia	特定外来生物	重点対策外来種	×	モウセンゴケ（在来）	Drosera rotundifolia	－	－		自然交雑が確認されている。
植物	外来ノアサガオ類	Ipomoea spp. (Pharbitis spp.)	なし	重点対策外来種	×	ノアサガオ（在来）	Ipomoea indica	－	－		ノアサガオは在来種だが、外来系統が野生化している。種間雑種ができるので、在来種の遺伝的攪乱の可能性はある。
植物	オオカワヂシャ	Veronica anagallis-aquatica	特定外来生物	緊急対策外来種	×	カワヂシャ（在来；準絶滅危惧種）	Veronica undulata	－	－	ホナガカワヂシャ V. myriantha	在来種のカワヂシャの遺伝的攪乱を引き起こす。カワヂシャとの雑種のホナガカワヂシャは、発芽能力のある種子をつくる。
植物	フサフジウツギ	Buddleja davidii	なし	重点対策外来種	×	フジウツギ（在来）	Buddleja japonica	－	－		フジウツギB. japonicaの立地環境と重複するため、生育地やポリネーターをめぐる競合し、遺伝子攪乱が懸念される。
植物	ヒメイワダレソウ	Phyla canescens	なし	重点対策外来種	×	イワダレソウ（在来）	Phyla nodiflora	－	－	スーパーイワダレソウ、リッピアLippia	交雑種から様々な改良品種が作出されている。
植物	栽培キク属	Chrysanthemum (Dendranthema) cv.	なし	その他の総合対策外来種	×	在来のキク属（絶滅危惧種を含む）	Chrysanthemum (Dendranthema) spp.	－	－	ハナイソギクC. × marginatum（イエギクC. morifoliumとイソギクC. pacificumの雑種）など	遺伝的攪乱を引き起こす。特にイエギクは4～8倍体を含む膨大な数の品種があり、2～10倍体までである在来種のほとんどと交雑の可能性はある。
植物	フランスギク	Leucanthemum vulgare	なし	その他の総合対策外来種	×	イワギク（在来；絶滅危惧Ⅱ類）	Dendranthema zawadskii	－	－		石川県の白川郷ホワイトロードで、絶滅危惧種のイワギクとの交雑が危惧される。
植物	フランスギク	Leucanthemum vulgare	なし	その他の総合対策外来種	×	ハマギクまたはコハマギク（在来）	Nipponanthemum nipponicumまたは Chrysanthemum yezoense	－	－	ジャスター・デージー Chrysanthemum burbankii	交雑育成された。
植物	セイヨウタンポポ	Taraxacum officinale	なし	重点対策外来種	×	カントウタンポポ（在来）	Taraxacum platycarpum var. platycarpum	－	－	アイノコセイヨウタンポ	関東以南でセイヨウタンポポとされているのはほとんど雑種。
植物	セイヨウタンポポ	Taraxacum officinale	なし	重点対策外来種	×	ミヤマタンポポ（在来）	Taraxacum alpicola	－	－		中部山岳国立公園にある立山で雑種と考えられる植物が生育。
植物	アカミタンポポ	Taraxacum laevigatum	なし	重点対策外来種	×	カントウタンポポ（在来）	Taraxacum platycarpum var. platycarpum	－	－	アイノコアカミタンポポ	関東以南でセイヨウタンポポとされているのはほとんど雑種。
植物	オオオナモミ	Xanthium occidentale	なし	その他の総合対策外来種	×	オナモミ（在来；絶滅危惧Ⅱ類）	Xanthium strumarium ssp. sibiricum	－	－		交雑する。

ヒメヒオウギズイセンも栽培種同士の交雑種であるが、在来種との交雑のおそれの情報は無いため含めていない。